

2020 年 10 月 8 日
(一社) 四国ツーリズム創造機構

インバウンド誘客に向けた「新型コロナウイルス感染症対策セミナー」実施報告

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、当機構の会員の皆様や四国内の地域・地域連携DMOの方々を対象に、現在の東アジア4か国の状況と各国の対策についてのセミナーを開催いたしました。

内容は、日本のガイドラインと各国の対策の相違点等を理解いただき、今後のインバウンド誘客において必要とされる「安心・安全」に資する取り組みや注意点についてです。

講師には現在【四国コンシェルジュデスク】で当機構への外国語での問い合わせに対応いただいているグルネウォルド夫妻をお招きし、四国への訪問数で8割を占める台湾、中国(香港含む)、韓国の現状や各国で実施されている感染症対策についてご講演いただきました。

開催日時/場所/人数(感染防止策として1団体2名様限定とさせていただきました)

□高知県

開催日時・場所：2020年8月20日(水) 高知市文化プラザかるぽーと 参加人数：16名

□徳島県

開催日時・場所：2020年9月3日(木) アスティ徳島 参加人数：13名

□香川県

開催日時・場所：2020年9月4日(金) レクザムホール 参加人数：21名

□愛媛県

開催日時・場所：2020年9月11日(金) 愛媛県民文化会館 参加人数：13名

【講演内容】

新型コロナウイルス感染症防止対策における日本と海外(訪日外国人観光客が多い台湾、韓国、中国)のガイドラインの実際的な取り組みについて紹介し、日本と同じく、各国でも国内観光に持ち直しの動きがみられるなか、感染症対策に関しては、海外では非常にスピード感をもった対応が行われる一方、日本では休業要請や個人情報の取り扱いなど、非常に慎重に物事を進める傾向にあるとのお話をいただいた。

具体的な対応策としては、

・海外でも、各ホテルが、近隣住民対象に、レストランは料理セミナー、バーはワインセミナー等を実施して将来のファンと喫緊の収益を増やすことに取り組んでいる。

・Youtube や Facebook 等で 動画の配信をすべきである。特に、自組織で取り組んでいる部屋や車両の清掃方法や、客室・車両内の対策の配信をすること。旅館で言えば、

布団の敷き方等も、配信すべき。その動画を、日本語で制作した場合、英語の字幕をつけること。短時間の動画を多く配信すること。

- ・ 自組織の感染対策を、多く配信すること。
- ・ 訪日復活を見据え、自組織の感染対策について、サインを多言語で製作しておくこと。
例) For your comfort
- ・ 売店において、日本のマスク（手作り、抗菌、デザイン性の高いもの）や消毒液、除菌グッズ等が、お土産の主流になってくるかもしれないので、その仕入れ交渉を準備しておく。抗菌・除菌の多言語でのサインも忘れずに。

【受講者の反応・ご意見】

高知) 他国での感染症対策の違いを知り、国別の対策が必要なが分かりました。

徳島) 講演によりコロナ禍対策の具体的案が浮かんできました。

香川) 感染防止対策の方法や、伝え方を検討してみようと思いました。

愛媛) 感染防止対策実施の伝え方を検討したことが無かったので参考となった。海外のお客様のみならず、国内のお客様にも目に見えるカタチで伝えていきたいと思う。

今後も、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えて、四国へのインバウンド誘客に向けた対策を実施して行きたいと考えています。

以上

